

女性社員の活躍の場を広げるとともに 工程の自動化で高付加価値を実現

1976年に精密部品加工の製造により創業し、以後、機械・電気・ソフトを含む設計から精密部品加工、大物部品加工、溶接加工、組立、電装、据付調整まで、あらゆるニーズに対応できる体制づくりを目指して事業を展開してきている。永年にわたって大手企業様の装置製作という貴重な経験で培ってきた自動省力化機械、半導体製造装置や産業機械などのノウハウを得ることができた。ここ数年來は、それぞれの技術や経験を活かして自社製品の開発も手掛けている。

● 所在地 秋田県にかほ市金浦字笹森125-1
● 電話/FAX 0184-38-3988/0184-38-2193
● URL <http://www.marudaikiko.co.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 菊地 兼治

● 設立 1975年
● 資本金 5,000万円
● 従業員数 213人



生産性向上

鏡面加工が可能な立型マシニングセンタの導入による付加価値向上

半導体関連部品や真空部品のなかでは加工部品の製作工程のなかに磨き作業という工程があり、従来、治具・工具で人の手により磨き作業を行っていた。この作業は作業者の手先に負担がかかり疲労やストレスになる他、ペーパーヤスリとヘラ等も面の幅に合わせて準備が必要なため手間と時間がかかっていた。鏡面加工が可能な立型マシニングセンタの導入の結果、磨き作業の人員をオペレーターに配置転換したり作業の自動化を図ることができ付加価値の向上につながった。



精密部品加工工場

最新の画像寸法測定器を取得し効率化を図る

最新の画像寸法測定器を導入することにより、人によってばらつきがあった測定方法を統一し、例えば1個あたり約45分かかっていた測定時間が瞬時に合否判定できるようになった。このように効率化に向けた積極的な取組を行っている。また、多台持ちで作業を行う中堅社員を若手社員の教育担当として配置することで、機械設備の機械的構造、原理、操作方法等基礎的なことの指導等を行い、多能工化、機械の多台持ちを推進すること等で業務の効率化を図っている。



画像寸法測定器による合否判定

女性技術者の育成と活躍できる場をつくる

精密機器産業が集積する当地域の人材の掘り起こしを考え、地元で電子部品関連業務の経験者を中心に社員を募集し新工場を立ち上げた。本社から転属させたベテラン女性社員を指導役とし、女性の技術者の育成と活躍を推進しており、以前は男性が行っていたような仕事でも積極的に女性を登用し雇用の拡大につなげている。女性を中心とした職場であり、現在まで離職者のない働きやすい職場となっている。フルタイムで勤務する者も多く資格の取得を推進している。



女性を中心とした工場

ものづくり